

宮崎大学1年生を対象とした進路選択に関するアンケート調査報告

藤 境 智一¹⁾

1 はじめに

大学教育が需要過剰から供給過剰へと転ずることは、個々の大学にとってこの上ない環境変化である。近年、わが国の高等教育システムはこの大きな転換期を迎えようとしている。優秀な学生をめぐる大学間の争奪戦が加熱することは必至であり、大学の最大のセールスポイントである教育の質は今まで以上に戦略上の優先課題となるだろう。研究はよいが教育はおざなりという学科、研究科は優秀な学生を惹きつけることができない。

ところが、教育の質の指標となる学生の学習の実態について、全学規模で、詳細に把握している機関は依然少数である。学習の実態把握には、例えば、学生が身に付けた能力、能力を身に付けた学習のプロセス、教育効果を高めるための要因などの情報が必要である。上記の環境変化や第三者評価への新たな対応などを引き金に、実態把握に向けて多くの大学が腰を上げた。宮崎大学においてその端緒を開いた活動のひとつが、1年生を対象とした全学調査である。本稿は、その結果の報告である。

質問項目は、1) アドミッション・ポリシーの認知、2) 高校での履修科目、3) 宮崎大学への進学を決めた理由と将来の進路に関する意識の大きく三つに分かれる(Appendix 1 参照)。本調査は、大学教育研究企画センターの入学・進路選択研究部門によって企画された。入学者選抜方法の妥当性の検討や学生の教育プログラムへの適応や満足の検証に調査結果を役立てることが第一の目的である。学内ではすでに入試データおよび成績、転入、転出などに関する教務データなどが蓄積されており、まだ学年は限られているが、入学から卒業までの学力を追跡することができる。本調査はこのデータを補完するものである。つまり、学生の意識、動機、経験に関する情報によって、在学生の学力や適応をより多角的に把握することを目指している。

同時に、本調査は全学調査をオンラインでおこなう試みでもあった。学習者の実態把握には、学生への調査を継続的に実施していく必要があるが、そのとき、オンラ

インでの回答に教員や学生が慣れていれば、データを回収するコストを小さく抑え、結果を早く知ることができる。オンラインによるはじめての全学調査となった本調査では、当初、どのような組織を通じて調査を実施し、誰の指導によってどのように学生が回答を入力するのかが大きな課題となった。

調査は全4学部(教育文化学部、医学部、工学部、農学部)の1年生1,081人を対象におこなわれた。アンケートへの回答には1年生の必修科目である共通教育科目「情報科学入門」の科目担当者の協力を得た。「情報科学入門」はコンピュータ教室で行われる少人数の授業で、1年生がパソコン操作の基本を修得する機会でもある。

「情報科学入門」の科目担当者には、平成16年5月17日から6月4日の期間のいずれかの授業でホームページ上の質問紙へ回答の入力をおこなうよう依頼した。平均回収率は77.1%と高かった(詳細はAppendix 2 参照)。

1年生の実態を知るには十分な数字ではあるが、成績の追跡をおこなうためにはまだ課題が残る。では、次に学部間の比較を中心に調査結果について検討する(学部表記の順は学籍番号の学部コードに従う)。

2 アドミッション・ポリシー認知について

図1は宮崎大学のアドミッション・ポリシーを見たという経験に関する結果である。学部によってばらつきがある(カイ2乗検定1.0%水準で有意)。アドミッション・ポリシーを見た者についてその時期を聞くと、高校3年生の夏休み以降、すなわち受験の直前が圧倒的に多い(図2の数値はAppendix 3の集計同様、設問3への回答者数を分母とした比率である)。農学部では3年生の夏休み前に読んだという学生が比較的多く、アドミッション・ポリシーを見た者も65.3%と多い。

アドミッション・ポリシーの広報には大学案内がもともと効果を発揮している(図3)。入学者選抜要項がそれに続く。工学部ではホームページでアドミッション・ポリシーを見る者が多い。大学案内とホームページにつ

1) 大学教育研究企画センター

いて、アドミッション・ポリシーを知る上で役に立ったかどうかをたずねたところ、概ね肯定的な回答を得た(図4)。また、アドミッション・ポリシーを大学案内で見た学生も、ホームページで見た学生も20%以上が「とても役に立った」と答えている。しかし、属している教育プログラムの内容や目的については、とくに工学部、農学部でよくわかっていない学生が目立つ。さらに詳しく分析を進めると、こうした学部では大学案内、ホームページは役に立ったと回答しながら、教育内容について「まったく知らない」あるいは「あまり知らない」と答えている者が多数含まれていた。アドミッション・ポリシーを知る上で多少は役立ったが、その先は読んででもあまりよく理解できなかつたということだろうか。

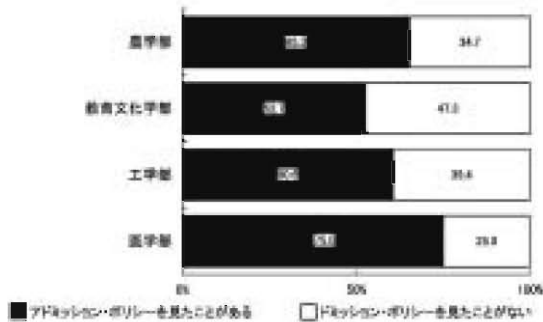


図1 アドミッション・ポリシーの認知

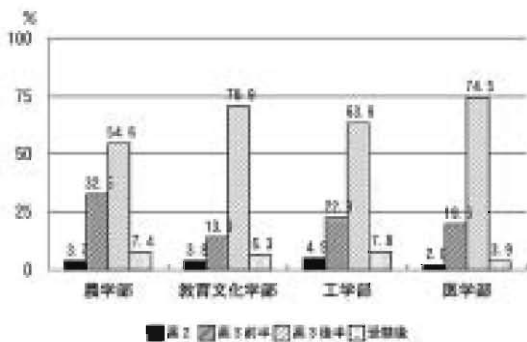


図2 アドミッション・ポリシーを読んだ時期

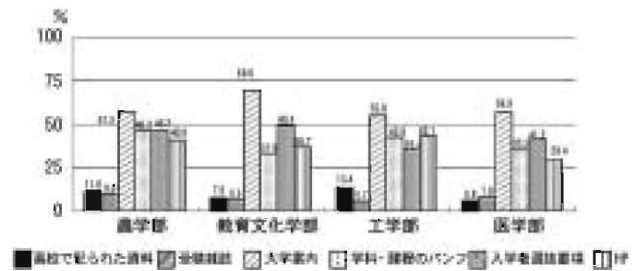


図3 アドミッション・ポリシーを目にしたメディア(複数回答)

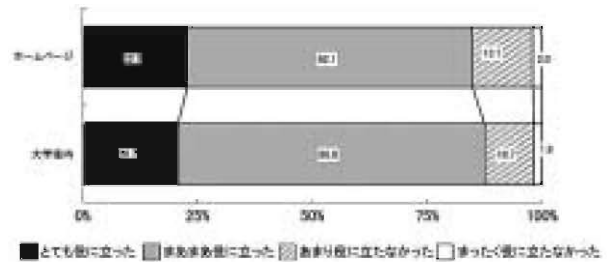


図4 アドミッション・ポリシー周知におけるメディアの効果

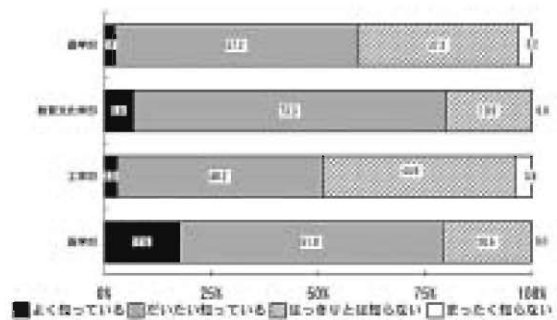


図5 学科・課程における教育目標の理解

3 履修科目について

以下の図6~13は高校での科目の履修状況である。理科や数学では教育文化学部とそれ以外の学部の間で大きな違いが見られる。履修科目の実態を把握するには、学科・課程などのさらに細かい単位で集計する必要があるだろう。また、入学後の成績との関連性が重要であるが、それら分析は別の機会に譲る。

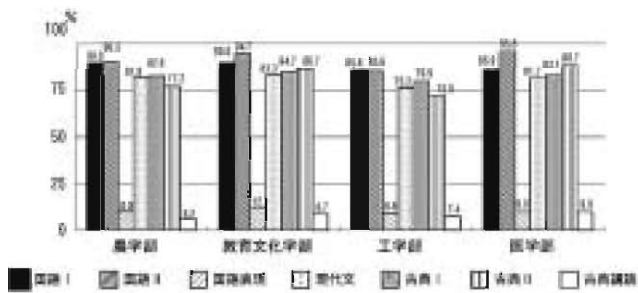


図6 高校での履修科目（国語）

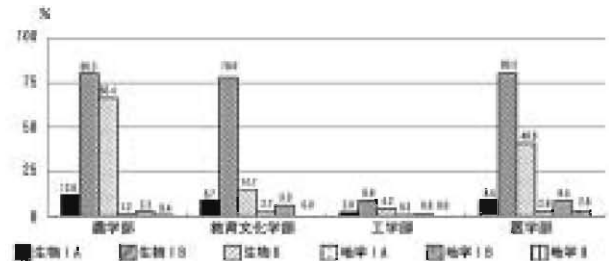


図10 高校での履修科目（生物・地学）

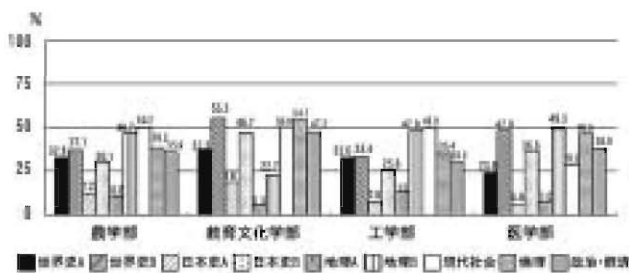


図7 高校での履修科目（地理・歴史・公民）

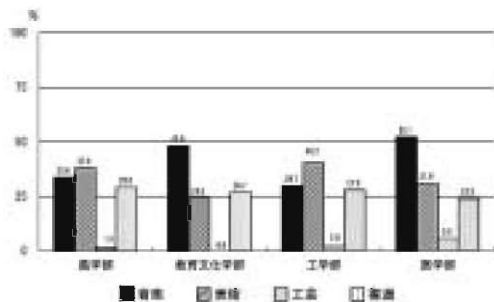


図11 高校での履修科目（芸術）

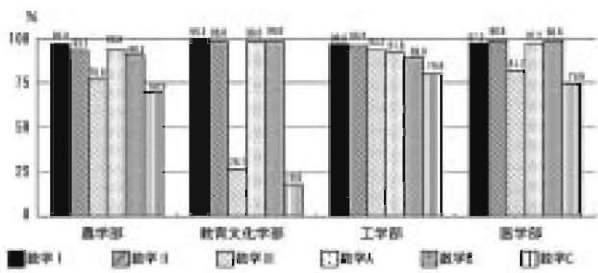


図8 高校での履修科目（数学）

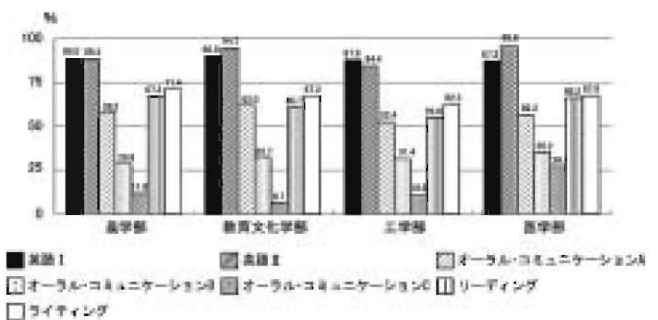


図12 高校での履修科目（外国語）

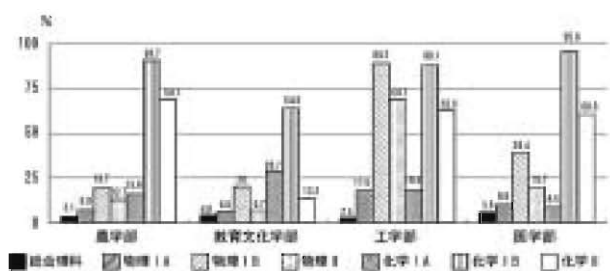


図9 高校での履修科目（総合理化・物理・化学）

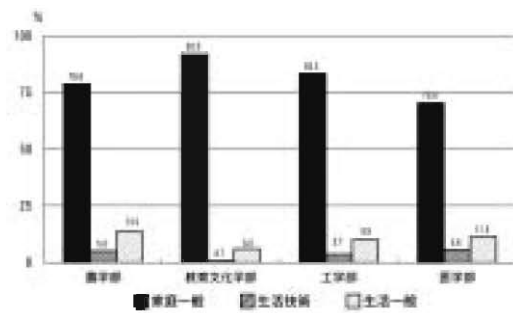


図13 高校での履修科目（その他）

4 進路決定について

この節では大学進学、在学中の学習、卒業後の進路に関する新入生の意識について考察する。図14では、進学には学問上の関心と職業上の関心が大きく影響していることがわかる。教育文化学部、医学部では希望の職種を目指すなどの職業上の関心から進学を決意した学生が比較的多く、農学部、工学部ではより高い賃金を目指すなど経済上の関心から進学した学生が多いという傾向が見られる。教育文化学部と医学部の学生の意識は、学科・課程の選択理由や卒業後の進路においても、専門分野への関心が高く、専門職を目指すものが多いという点で共通している（図15、16）。つまり、これらの学部の学生は、入学前から教師、医師、看護師などの専門職を目指している。一方、農学部、工学部では、学科の選択において専門分野には関心を示しているものの、卒業後の進路を意識しているものは比較的少ない。また、農学部、工学部の学生には民間企業への就職を考えている者が多い。つまり、職種について選択肢は多いが、学習の目的と希望の職種を早期に決定することが容易ではない。

学科・課程の選択理由では、その他に、どの学部も受験科目をあげる者が多く、数字はつねに入学難易度を上回っている。ある特定の教育プログラムに関心を持つ受験生が、受験科目を理由に志願をあきらめることのないよう大学側は今後も配慮していく必要があるだろう。しかし、単に、志願者増加の目的あるいは志願者のスクリーニングの目的で試験科目を増減させることは大学教育の効果の点からは避けるべきである。大学と学生との双方にとって弊害が大きい。志願者の資質と教育プログラムが要求する資質とを一致させるためにそれぞれの学科・課程はアドミッション・ポリシーを明文化している。こうした弊害を小さくするためにはアドミッション・ポリシーを効果的に活用することが重要となる。本調査がアドミッション・ポリシーの周知の実態を複数の設問によって詳しく把握しようとする理由もここにある。

図17は、入学前の受験準備の段階における第一志望を示している。「現在在籍している学科」と回答した者は進学先が第一志望であることを意味する。第一志望者占有率が高い学科・課程ほど1年生の満足度は高いことが推測される。また、「他大学の異なる分野」と答えた者が多ければ、その学科・課程の満足度は低いことが予想

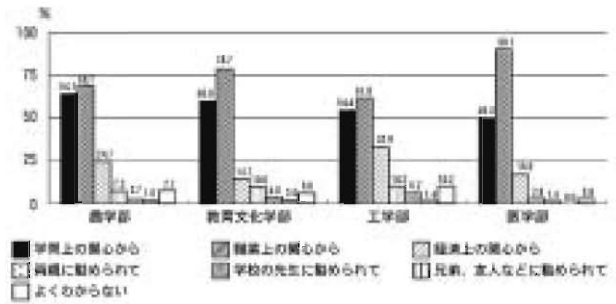


図14 大学進学の本質 (複数回答：2つまで回答可)

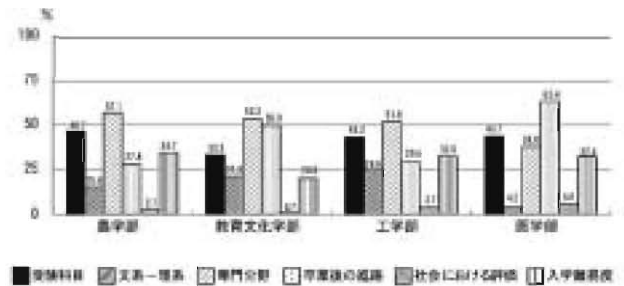


図15 学科・課程の選択理由 (複数回答：2つまで回答可)

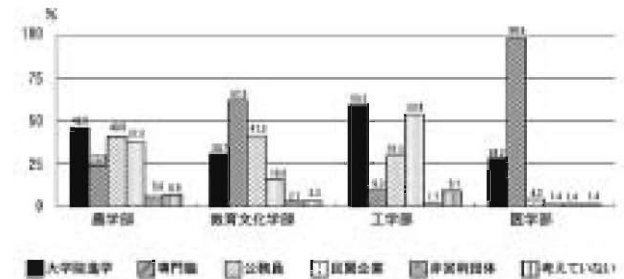


図16 卒業後の進路 (複数回答：2つまで回答可)

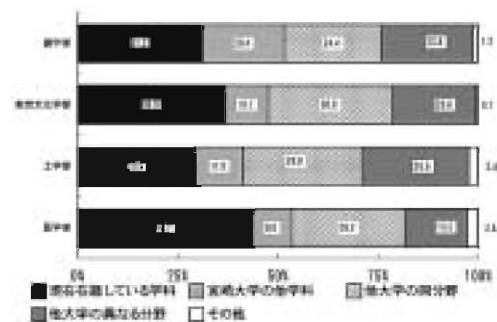


図17 受験準備段階の希望学科・課程

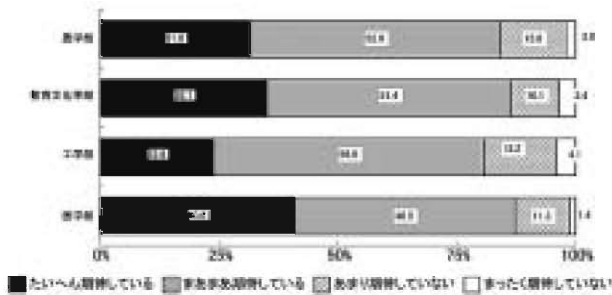


図18 学生生活への期待

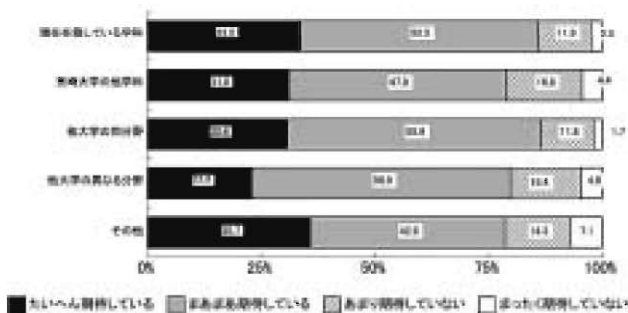


図19 志望学科・課程別学生生活への期待

される。学部別の集計を見ると「現在在籍している学科」と「他大学の異なる分野」とは負の対応関係にある。工学部では「現在在籍している学科」と答えた者が少なく、「他大学の異なる分野」と答えた者が多い。医学部ではその逆の傾向がみられる。この結果を、図18の大学への期待と比べると「現在在籍している学科」の比率が高い学部では「たいへん期待している」と答えるものが多く、同様に、「他大学の異なる分野」の比率が高い学部では「あまり期待していない」と答える者が多いという傾向がみられる。しかし、入学前の希望学科別に大学生活への期待度を比較しても統計的に有意な差は認められなかった。図19はこの設問の学部別集計結果である。

第一志望と学生生活への期待の対応関係に関する仮説は妥当か。また、第一志望者の比率や他分野志望者の比率がその後の学習に影響を与えるのだろうか。実態解明のためにはデータを蓄積しながら検証を継続していく必要がある。

5 おわりに

冒頭で述べた通り、本調査の意義は、新入生の現状を現時点で把握するという点ではなく、意識、動機、経験に関するデータを蓄積し、将来の問題解決に役立てるという点にある。今後、このような調査を継続して実施し、時系列の変化をたどること、また、結果を入試データや成績データと関連づけて分析することが重要であり、これからの課題である。

Appendix 1

アンケートの設問

設問1 高校時のクラブ活動について回答して下さい。(文化系、運動系両方のクラブに所属した人は両方にマークしてください。)

- ① 文化系クラブ
- ② 運動系クラブ
- ③ 特に所属していなかった

設問2 設問1でクラブに所属していた人は、具体的にクラブ名を回答して下さい。(複数のクラブに所属した人は、列挙してください。)

設問3 あなたが所属する学科・課程の入学受け入れ方針(アドミッションポリシー)を読んだことがありますか。(「ある」と回答した方は設問4へ、「ない」と回答した方は設問8へ進んでください。)

- ① ある
- ② ない

設問4 設問3で「ある」と回答した方にうかがいます。それはいつですか。(選択肢の中から一つを選んでください。)

- ① 高校入学前
- ② 高校1年生
- ③ 高校2年生
- ④ 高校3年生の9月以前
- ⑤ 高校3年生の9月以降
- ⑥ 大学受験後

設問5 設問3で「ある」と回答した方にうかがいます。どのようなメディアによって入学受け入れ方針(アドミッションポリシー)を知りましたか。(当てはまる項目をすべてマークしてください。)

- ① 高校等で配られた資料
- ② 受験雑誌
- ③ 宮崎大学の大学案内
- ④ 学科・課程のパンフレット
- ⑤ 宮崎大学の入学選抜要項
- ⑥ 宮崎大学のホームページ
- ⑦ その他

設問6 設問5で「宮崎大学のホームページ」と回答した方にうかがいます。ホームページの情報は宮崎大学の教育方針や学生受け入れ方針を知る上で役に立ちましたか。

- ① まったく役に立たなかった
- ② あまり役に立たなかった
- ③ まあまあ役に立った
- ④ とても役に立った

設問7 設問5で「宮崎大学の大学案内」と回答した方にうかがいます。大学案内の情報は宮崎大学の教育方針や学生受け入れ方針を知る上で役に立ちましたか。

- ① まったく役に立たなかった
- ② あまり役に立たなかった
- ③ まあまあ役に立った
- ④ たいへん役に立った

設問8 あなたが所属する学科・課程では4年間もしくは6年間でどのような知識を修得することを目的としているのかわかっていますか。

- ① まったく知らない
- ② はっきりとは知らない
- ③ だいたい知っている
- ④ よく知っている

以下の設問9～設問15までは高校で履修した科目について尋ねます。

設問9 国語について。あなたは次の科目を履修しましたか。(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 国語Ⅰ
- ② 国語Ⅱ
- ③ 国語表現
- ④ 現代文
- ⑤ 古典Ⅰ
- ⑥ 古典Ⅱ
- ⑦ 古典講読

設問10 地歴・公民科について。あなたは次の科目を履修しましたか。(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 世界史A
- ② 世界史B
- ③ 日本史A
- ④ 日本史B
- ⑤ 地理A
- ⑥ 地理B
- ⑦ 現代社会
- ⑧ 倫理
- ⑨ 政治・経済

設問11 数学について。あなたは次の科目を履修しましたか。(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 数学Ⅰ
- ② 数学Ⅱ
- ③ 数学Ⅲ
- ④ 数学A
- ⑤ 数学B
- ⑥ 数学C

設問12 理科について。あなたは次の科目を履修しましたか。
(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 総合理科
- ② 物理 I A
- ③ 物理 I B
- ④ 物理 II
- ⑤ 化学 I A
- ⑥ 化学 I B
- ⑦ 化学 II
- ⑧ 生物 I A
- ⑨ 生物 I B
- ⑩ 生物 II
- ⑪ 地学 I A
- ⑫ 地学 I B
- ⑬ 地学 II

設問13 芸術について。あなたは次の科目を履修しましたか。
(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 音楽
- ② 美術
- ③ 工芸
- ④ 書道

設問14 外国語について。あなたは次の科目を履修しましたか。
(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 英語 I
- ② 英語 II
- ③ オーラル・コミュニケーションA
- ④ オーラル・コミュニケーションB
- ⑤ オーラル・コミュニケーションC
- ⑥ リーディング
- ⑦ ライティング

設問15 その他について。あなたは次の科目を履修しましたか。
(履修した科目をすべてマークしてください。)

- ① 家庭一般
- ② 生活技術
- ③ 生活一般

設問16 あなたはなぜ大学に進学しようと決心したのですか。
(当てはまる項目が複数ある場合は、最も重要だと思われるもの二つをマークしてください。)

- ① 学問上の関心から (もう少し高い教養を身につけたいなど)
- ② 職業上の関心から (大学を卒業して就きたい職業があるなど)
- ③ 経済上の関心から (雇用の安定やより高い賃金を求めてなど)
- ④ 両親に勧められて
- ⑤ 学校の先生に勧められて
- ⑥ 両親や学校の先生以外の人に勧められて (兄弟、友人など)
- ⑦ よくわからない
- ⑧ その他

設問17 現在の学科・課程を選択するときに以下のことを考慮しましたか。(当てはまる項目が複数ある場合は、最も重要だと思われるもの二つをマークしてください。)

- ① 受験科目
- ② 学科・課程の教育内容が文科系であるか理科系であるか
- ③ 学科・課程の専門分野
- ④ 卒業後の進路
- ⑤ 社会における学科・課程の評価
- ⑥ 学科・課程の入学難易度
- ⑦ その他

設問18 卒業後はどのような進路に進みたいと考えていますか。
(当てはまる項目が複数ある場合は、最も重要だと思われるもの二つをマークしてください。)

- ① 大学院への進学
- ② 医師、看護師、獣医師、教師などの専門職
- ③ 教師以外の公務員
- ④ 民間企業
- ⑤ 民間企業以外の非営利団体
- ⑥ 進路についてまったく考えていない
- ⑦ その他

設問19 受験準備の段階で、あなたが入学を希望していた学科・課程は次のうちどれですか。(選択肢の中から一つを選んでください。)

- ① 現在在籍している学科・課程
- ② 宮崎大学の他の学科・課程
- ③ 他の大学の同じ分野の学科・課程
- ④ 他の大学の異なる分野の学科・課程
- ⑤ 入学を希望していた学科・課程はとくになかった
- ⑥ 入学を希望していた学科・課程はとくになく、入試直前まで大学進学も考えていなかった

設問20 宮崎大学での充実した学生生活について期待していますか。

- ① まったく期待していない
- ② あまり期待していない
- ③ まあまあ期待している
- ④ たいへん期待している

設問21 共通教育の授業について期待していますか。

- ① まったく期待していない
- ② あまり期待していない
- ③ まあまあ期待している
- ④ たいへん期待している

設問22 専門教育の授業について期待していますか。

- ① まったく期待していない
- ② あまり期待していない
- ③ まあまあ期待している
- ④ たいへん期待している

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

Appendix 2

学科・コース別回収率

学部・学科・課程		在籍者数	回答数	回収率(%)
農学部	獣医学科	32	30	93.8
	食料生産科学科	61	59	96.7
	生物環境科学科	68	64	94.1
	地域農業システム学科	59	48	81.4
	応用生物科学科	59	58	98.3
教育文化学部	学校教育課程	113	84	74.3
	地域文化課程	32	27	84.4
	生活文化課程	46	6	13.0
	社会システム課程	61	33	54.1
工学部	材料物理工学科	52	50	96.2
	物質環境化学科	71	67	94.4
	電気電子工学科	89	76	85.4
	土木環境工学科	62	55	88.7
	機械システム工学科	51	47	92.2
	情報システム工学科	62	58	93.5
医学部	医学科	102	46	45.1
	看護学科	61	25	41.0
合計/平均		1,081	833	77.1

Appendix 3

[素集計] (カッコ内は%)

問1 高校時のクラブ活動(複数回答)

文化系クラブ	運動系クラブ	
192 (23.0)	463 (55.6)	上段:実数 下段:回答者数833人に対する比率(%)

問3 所属する学科・課程のアドミッション・ポリシーを読んだことがある

ある	ない	計
503 (61.8)	311 (38.2)	814 (100.0)

問4 所属する学科・課程のアドミッション・ポリシーを読んだ時期

高校入学前	高校1年生	高校2年生	高校3年生 前半	高校3年生 後半	大学受験後	計
2 (0.4)	8 (1.6)	20 (4.0)	120 (24.0)	314 (62.9)	35 (7.0)	499 (100.0)

問5 所属する学科・課程のアドミッション・ポリシーを目にしたメディア(複数回答)

高校で配られた資料	受験雑誌	大学案内	学科・課程のパンフレット	入学者選抜要項	ホームページ	その他	
55 (10.9)	37 (7.4)	293 (58.3)	209 (41.6)	210 (41.7)	201 (40.0)	6 (1.2)	上段:実数 下段:問3で「ある」と回答した503人に対する比率

問6 教育方針及び学生受け入れ方針に関するメディアの効果(宮崎大学のホームページ)

まったく役に立たなかった	あまり役に立たなかった	まあまあ役に立った	とても役に立った	計
4 (2.0)	26 (13.1)	123 (62.1)	45 (22.7)	198 (100.0)

問7 教育方針及び学生受け入れ方針に関するメディアの効果(宮崎大学の大学案内)

まったく役に立たなかった	あまり役に立たなかった	まあまあ役に立った	とても役に立った	計
5 (1.8)	30 (10.7)	187 (66.8)	58 (20.7)	280 (100.0)

問8 学科・課程のカリキュラムの目的について

まったく知らない	はっきりとは知らない	だいたい知っている	よく知っている	計
21 (2.6)	286 (35.8)	453 (56.8)	38 (4.8)	798 (100.0)

問9 高校で履修した科目(国語)

国語I	国語II	国語表現	現代文	古典I	古典II	古典講読	
732 (87.9)	746 (89.6)	82 (9.8)	664 (79.7)	682 (81.9)	647 (77.7)	62 (7.4)	上段:実数 下段:回答者数833人に対する比率(%)

問10 高校で履修した科目(社会科)

世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	
273 (32.8)	331 (39.7)	91 (10.9)	265 (31.8)	87 (10.4)	359 (43.1)	401 (48.1)	上段:実数 下段:回答者数833人に対する比率(%)
倫理	政治・経済						
339 (40.7)	298 (35.8)						

問11 高校で履修した科目（数学）

数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学Ⅲ	数学A	数学B	数学C
810	797	626	783	765	543
(97.2)	(95.7)	(75.2)	(94.0)	(91.8)	(65.2)

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問12 高校で履修した科目（理科）

総合理科	物理ⅠA	物理①B	物理Ⅱ	化学ⅠA	化学ⅠB	化学Ⅱ
27	96	424	301	155	710	463
(3.2)	(11.5)	(50.9)	(36.1)	(18.6)	(85.2)	(55.6)
生物ⅠA	生物ⅠB	生物Ⅱ	地学ⅠA	地学①B	地学Ⅱ	
57	413	238	10	24	3	
(6.8)	(49.6)	(28.6)	(1.2)	(2.9)	(0.4)	

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問13 高校で履修した科目（芸術）

音楽	美術	工芸	書道
301	298	15	230
(36.1)	(35.8)	(1.8)	(27.6)

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問14 高校で履修した科目（外国語）

英語Ⅰ	英語Ⅱ	オーラル・コミュニケーションA	オーラル・コミュニケーションB	オーラル・コミュニケーションC	リーディング	リーディング
735	737	469	259	97	506	506
(88.2)	(88.5)	(56.3)	(31.1)	(11.6)	(60.7)	(60.7)

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問15 高校で履修した科目（その他）

家庭一般	生活技術	生活一般
686	31	88
(82.4)	(3.7)	(10.6)

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問16 大学進学動機（複数回答）

学問上の関心から	職業上の関心から	経済上の関心から	両親に勧められて	学校の先生に勧められて	兄弟、友人などに勧められて	よくわからない
483	578	214	72	36	12	67
(58.0)	(69.4)	(25.7)	(8.6)	(4.3)	(1.4)	(8.0)
その他						
24	上段：実数					
(40.7)	下段：回答者数833人に対する比率（%）					

問17 学科・課程の選択理由（複数回答）

受験科目	文化系か理科系か	専門分野	卒業後の進路	社会における評価	入学難易度	その他
355	162	438	296	25	258	27
(42.6)	(19.4)	(52.6)	(35.5)	(3.0)	(31.0)	(3.2)

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問18 卒業後の進路（複数回答）

大学院進学	専門職	教員以外の公務員	民間企業	非営利団体	まったく考えていない	その他
394	258	(275)	312	26	56	38
(47.3)	(31.0)	(33.0)	(37.5)	(3.1)	(6.7)	(4.6)

上段：実数
下段：回答者数833人に対する比率（%）

問19 受験準備段階の希望学科・課程

現在在籍している学科・課程	宮崎大学の他学科・課程	他大学の同分野	他大学の異なる分野	特になし	進学を検討していなかった	計
266	115	230	191	9	5	816
(32.6)	(14.1)	(28.2)	(23.4)	(1.1)	(0.6)	(100.0)

問20 学生生活への期待

まったく期待していない	あまり期待していない	まあまあ期待している	たいへん期待している	計
25 (3.1)	109 (13.5)	(434) (53.6)	241 (29.8)	809 (100.0)

問21 共通教育への期待

まったく期待していない	あまり期待していない	まあまあ期待している	たいへん期待している	計
99 (12.3)	285 (35.5)	(370) (46.1)	49 (6.1)	803 (100.0)

問22 専門教育への期待

まったく期待していない	あまり期待していない	まあまあ期待している	たいへん期待している	計
20 (2.5)	56 (7.1)	(395) (49.9)	320 (40.5)	791 (100.0)